

茶廊法邑



表彰理由

かつてのタマネギ畑の地から文化を育む場として、地域に根ざした街並み景観形成を試みた商業空間づくりの事例です。

角地に建設されたこのカフェ&ギャラリーは、敷地周辺の空間演出がおもしろくデザインされています。建物と道路境界との間の中間領域を広く確保した敷地内には、緑や草花が植栽され、道路側からの視線と建物内からの眺めを考慮した造園計画が施されています。レンガ色の外壁と切妻屋根のシンプルな外観の2階建て建築は、周囲の樹木と緑に調和しています。

また、建物の妻側に存在する駐車場は、打ち放しコンクリートの表面が木目地仕上げの壁で、建物内へのアプローチ部分と区分されています。従って、樹木の自然豊かな建物側と人工的な駐車場側の対比が、角地の場に趣ある街並み景観を形成しています。

建築後3年しか経っていないことから、今後の樹木の成長が待たれますが、かつてのタマネギ畑から新たな地域文化が生まれ、周辺の街並み景観に波及効果がもたらされることを願っています。

中井 和子

- 所在地 東区本町1条1丁目
- 建設主 法邑 美智子
- 設計者 株式会社 ナカヤマ・アーキテツ
- 施工者 株式会社 武下建設
- 完成年次 平成16年